

日本の竹ファンクラブ通信



竹林の保全と気候変動！

23 年度総会開催 若竹更新でCO₂吸収

6月18日、城郷小机地区センターで23年度総会が開催され議案の報告承認が行われました。年間計画で管理された竹林は深刻化する温暖化防止に貢献できているのでしょうか。竹林とCO₂吸収について考えます。

事業報告と次年度計画

22年度はコロナ禍の影響もなくなり、事業計画を達成することができました。その中、折本での保全活動が惜しまれながら終了しました。また、こどもの国の竹林若返り作戦は今年も継続しました。

23年度の事業計画は概ね、例年通りの計画を予定します。フィールドの増減はなく、本年は中井で計画を一部変更、たけのこ狩りイベントを2年間で中止、竹林の更新を図ります。

竹の特異性と管理

年間活動計画の中心は竹の間伐と活用です。昨今急速に進む温暖化はCO

2吸収源として森林が期待されています。独特の生態を持つ竹も同じ効果を期待できるのでしょうか。

竹は成長が早く寿命も短く、しかも地下茎を持つためCO₂の吸収量や蓄積量はまだ未解明の部分が多く残しています。

竹林は吸収源となるか

竹でCO₂の吸収量が最も多いのは若竹です。老齢化するほど吸収量は減り、逆に呼吸で排出の方が多くなります。寿命も短いため放置竹林は全体として収支はマイナスになります。間伐材は燃やすとこれまで蓄積した炭素が一挙に放出されます。逆に建

築や工作物等に利用すると炭素は固定されたままです。森林土壌は地上部の3倍の炭素を蓄積しています。竹が地下茎で成長する有意性もあります。

適切な管理と利用で貢献

持続可能な管理と竹資源の適切な利用は気候変動の緩和に貢献します。

今期中井で出筍調査をしたところ、2千7百余の若竹候補が確認されました。秋の活動は老齢竹を間伐、生長した若竹との更新を図ります。今年の保全活動、温暖化を意識することでモチベーションも上がるのではないのでしょうか。

理事長 平石 眞司

小机城址支部

恒例のたけのこ掘りは4月16日と23日の2日間行いました。延べ参加は162名、掘り取り者118名と盛況でした。本年は裏年の為、筍が穂先筍どちらか1本の制限付きで参加いただきました。5月、6月は檜枯れの影響で一緒に伐採された竹があり、それらをF、G



地区の土留めに使用し、竹林内の美観を上げる整備を行いました。また5月20日にはF地区平地の出筍と地下茎が広範囲に育つのを期待して米糠2袋(30kg)を施肥しました。

担当：荻原三男

横浜国際プール支部

3月は竹灯籠まつりに向けて準備を開始。竹材の集積と竹灯籠づくり、設置と続いた。春先は雨天が多く例年になく活動日にそれが続出でした。それでも参加された竹取協力隊員と桐蔭横浜大学の皆さんの力で工程を消化、ところが準備日の昼に、祭り当日は夕方から結構な雨量と風の予報が発出された。泣く泣く日曜夜開催へ順延、結果は予報の中で順延決定100点満点でした。竹灯籠まつり後4月末から6月は穂先筍収穫、竹水仕込みと取水、若竹伐採、下草刈りと進み6月末に恒例の館内に、七夕飾り竹を設置しました。

担当：根岸秀行

いづもの国支部

ポニー牧場奥の孟宗竹林の整備は学生ボランティアが担っているが「親竹の選定」は毎

年竹ファンが実施、今年は最奥部の未整備地区に入るも筍の裏年を痛感しました。総合グラウンドのマダケ林やハチク林の周囲は腰高ほどの雑草に覆われ、それらをかき分けながら竹林に入りました。数年来生育状態を観察しているマダケ林は元気で立派な竹の子が親竹となり順調に回復しています。また(こちらの)ハチク林は開花する様子もなく竹の子が生え30数本の除伐を行いました。

「その時」は来年でしょうか？。

担当：丹治 薫

中井町支部

主な作業現場における本年の出筍数の調査結果、2694本。7月8日には止り筍等を伐採した結果、2194本が残りました。これらの管理も整備も大変ですが、有効利用を考えていきます。尚、来年も出筍数を調査し、

本年が裏年か表年かの判断に繋げて、管理の方法に繋げていきたいと考えます。中井町の真竹が皆様の参加をお待ちしています。



担当：榮 千彰

竹の学校

竹林管理コース

5月から「竹の学校」に通い始め、早いもので2ヶ月が過ぎ、必修科目を無事終了する事が出来ました。

これから夏に向けて、地中で静かに地下茎が伸長していくのを見守り、下草刈りに精を出します。学校の課外活動の一環として、秋、竹の活動が緩やかにな

る頃、「伐る事は植える事」とし、持続可能な竹の資源を有効に保つために伐竹を行います。そして、冬に芽子が伸びて、春、また新しい命が芽生えます。是非、「竹の学校」に参加して、竹の神秘的な生命力に触れてみて下さい。古来より人と共に暮らしてきた竹に愛



着と敬意を払い、孟宗竹、淡竹、真竹の“かつぽ焼酎”を作り、じっくり味わいたいと思う今日この頃です。お待ちしております。

報告：賀部正雄

竹の学校筍料理教室

4月30日に仲町台

地区センターで春レッスンを行いました。メニューは三品、筍おにぎり、筍入り和風ハン



バーグ、筍&横浜野菜の豚汁。一つのレシピが10のレパートリーになる料理教室は11月にも開催予定です。筍のおいしさが詰まった荒木先生の数々のバリエーション、皆様のご参加をお待ちしています。

報告：事務局

竹の学校

親子で学ぶ竹林

7月30日(日)小机城址市民の森で「親子で学ぶ竹林」を開催しました。猛暑のつづく中でしたがヘルメット

を着用して初めに竹林を見学後、来年筍が、沢山出てくれるようにと施肥を行いました。



地下茎の説明です

竹工作では、各々がペンシル立てや花器などを制作しました。昼ご飯は、竹の筒で炊飯した「竹筒ご飯」を竹の皿で頂きました。昼食後は、竹取協力隊力作の竹で作ったゲルを見学し、折り畳み式で簡



親子と一緒にナタと木槌で表皮を削ります

単に収納できことに皆が驚き、子供達には夏休みの良い思い出になったことでしょう。

報告：竹馬重徳

出前講座

横浜国際プール 水鉄砲作り

7月25日午前、横浜国際プールにて、竹筒の水鉄砲作り教室を開催しました。猛暑でしたが、小学1年生から4年生までの15名の参加がありました。始めの15分ほど、作り方の説明を行い、その後竹筒の作成、押し棒の



スポンジ布巻きを体験してもらいました。はじめは緊張していましたが、徐々に上手に道具を使えるようになっていました。1時間ほどで完成し、屋上で試

し打ちを行いました。始めは的に向けて打っ



ていたのですが、その内に標的が指導者になり、最後は全員ずぶ濡れに！ここ国際プールでは8月18日にも2回目を開催します。

報告：小川博永

第16回 竹灯籠まつり

横浜国際プール
林浴の庭

準備段階の悪天候を

乗越え、4月9日第16回目を1日順延で開催しました。プールのロゴマークや伝統文様を模した竹灯籠を順路の高い場所から見下ろすレイアウトや、各所のワンポイント展示は、997名の来場者のみなさまのみならず、運営

スタッフの安らぎのひと時にもなりました。また会員手づくりの竹製品や簡易型カッポ酒の販売も好評のうちに終わることができました。

報告：事務局



第20回小机城址市民の森

「竹灯籠まつり」に参加お待ちします！

・11月4日（土）9：00～21：00

《順延日5日（日）》

・参加者募集中（詳細別紙）。参加希望の方は事務局迄お申込み下さい。



2023年度通常総会

6月18日(日)総会が開催されました。第12期事業報告並びに収支決算の報告、監査報告、第13期事業計画並びに収支予算書の各議案は原案通り可決承認されました。

活動報告

6月11日 理事会開催、7月30日 親子で学ぶ竹林(小机城址市民の森)、7月25日・8月18日 水鉄砲教室(横浜国際プール)、8月13日 通信 夏・秋合併号発行

新入会員紹介 下線は竹取協力隊入隊者

富田修二(横浜市都筑区)、大田宣道(横浜市緑区)、下島 寛(横浜市都筑区)

寄付金

横浜国際プール竹灯籠まつり来場市民の皆様

第12期決算報告及び第13期予算 下記の通り報告いたします。令和5年3月31日(税込単位:円)

貸借対照表			活動計算書 第13期(第12期実績対比予算書)		
科 目	金 額	金 額	科 目	第12期実績	第13期予算
I 資産の部			I 経常収益		
1. 流動資産			1. 受取会費	358,000	358,000
現金預金その他流動資産	7,874,681		2. 寄付金	20,000	20,000
2. 固定資産			3. 助成金	160,266	700,000
有形固定資産			4. 事業収入	2,592,090	2,773,900
資産の部合計	319,423	8,194,104	5. その他収益	18	18
II 負債の部			経常収益合計	3,130,374	3,851,918
1. 流動負債			II 経常費用		
流動負債			1. 事業費	1,590,285	1,994,454
負債の部合計	0		2. 管理費	2,507,191	2,479,610
III 正味財産の部			当期支出合計	4,097,426	4,474,064
前期繰越正味財産額	9,161,206		当期経常増減額	-967,102	-622,146
当期正味財産増減額	-967,102		当期正味財産増減	-967,102	-622,146
正味財産合計	8,194,104		前期繰越正味財産	9,161,206	8,194,104
負債及び正味財産合計		8,194,104	次期繰越正味財産	8,194,104	7,571,958

予定表

※学校管:竹の学校「竹林管理コース」 ※協力隊:竹取協力隊の定例活動 ※援農隊:竹取援農隊の定例活動
※イベント:詳細はチラシ又はホームページでご覧下さい。

9月3日(日)	小机城址市民の森	10:00~15:00
協力隊	竹林の間伐	
9月9日(土)	中井町	10:00~15:00
協力隊	竹林の整備と下草刈り	
9月10日(日)	小机城址市民の森	10:00~15:00
協力隊	竹林の間伐	
9月17日(日)	横浜国際プール	10:00~15:00
協力隊	竹林整備(細竹処理と下草刈り)	
9月24日(日)	小机城址市民の森	10:00~15:00
協力隊	竹林の間伐	
学校管	竹林の調査と間伐	
9月28日(木)	中井町	10:00~15:00
協力隊	竹林整備と施肥・下草刈り	

11月3日(金)	小机城址市民の森	10:00~15:00
協力隊	まつり前日準備	
11月4日(土)	小机城址市民の森	9:00~21:00
イベント	第20回竹灯籠まつり(予備日5日)	事前申込み
11月5日(日)	小机城址市民の森	10:00~12:00
協力隊	まつり材片付け(午前中・予備日6日)	
11月9日(木)	小机城址市民の森	10:00~15:00
協力隊	竹灯籠集積・割り	
11月14日(火)	こどもの国	10:00~15:00
協力隊	竹林の間伐	
11月16日(木)	中井町	10:00~15:00
協力隊	竹林の整備	
11月18日(土)	小机城址市民の森	10:00~15:00
協力隊	竹林の間伐と竹灯籠割り	
11月23日(祝木)	中井町	10:00~15:00
イベント	竹林の間伐とみかん狩り	事前申込み
11月25日(土)	横浜国際プール	10:00~15:00
協力隊	竹林の間伐	
11月26日(日)	小机城址市民の森	10:00~15:00
協力隊	竹灯籠割り	
学校管	竹林の調査と間伐・竹垣改修(竹穂垣)	
11月28日(火)	こどもの国	10:00~15:00
協力隊	竹林の間伐	

12月3日(日)	小机城址市民の森	10:00~15:00
協力隊	竹林の間伐(竹垣材作り)と竹灯籠割り	
12月10日(日)	横浜国際プール	10:00~15:00
協力隊	竹林の間伐(竹垣材)と冬の施肥	
12月12日(火)	こどもの国	10:00~15:00
協力隊	竹林の間伐	
12月14日(木)	中井町	10:00~15:00
協力隊	竹林の整備	
12月16日(土)	小机城址市民の森	10:00~15:00
協力隊	竹林の間伐(竹垣材作り)と竹灯籠割り	
学校管	竹林の間伐と冬の施肥	

竹に関する情報は下記宛にご連絡をお願いいたします。

E-MAIL:office141@takefan.jp URL:http://takefan.jp TEL&FAX 045-306-9993